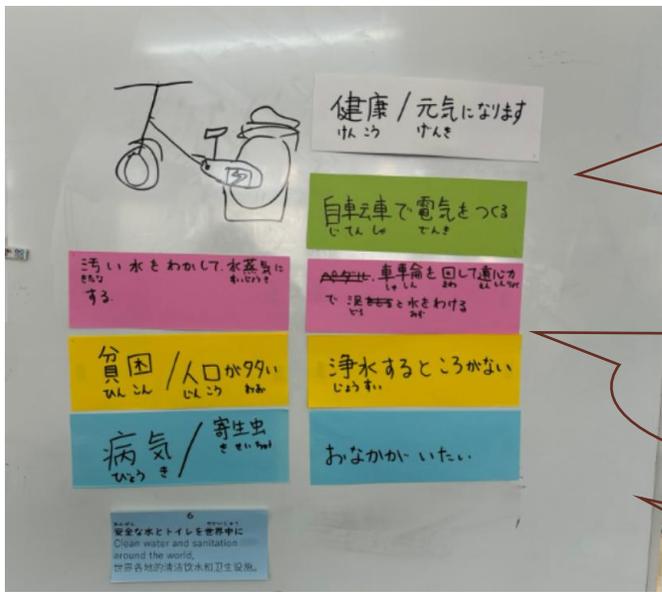


実践名：「こんな自転車ほしかってん」コンテストに応募しよう。

（合計10時間）

実施者：下山知子（堺市立三原台中学校日本語指導センター）

1 子ども	小学5年生～中学2年生（4名） 日本語初級後半以上
2 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの目標を理解し、社会の課題に対して理論的に思考することができる。 ・目標達成のために開発する「未来の自転車」の企画書や設計図を作ることができる。 ・地場産業育成のために行われているコンテストに応募することで、社会の一員として生活していることに気づくことができる。
3 活動	<ol style="list-style-type: none"> ①募集要項を確認し、コンテストの趣旨や手順を理解する。 ②SDGsについて知り、問題の背景や原因、解決法について考え、イメージマップやメモを作る。 ③イメージマップやメモをもとに企画書を作る。 ④企画書をもとに自転車の絵を描く。 ⑤企画書と自転車の絵を応募する。
4 工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの理解を深めるため、資料を母語に翻訳したり、母語で書かれたHPを活用したりした。 ・自分が考えたことを一番得意な言語で表出したあと、当該学年として知っておくべき語彙の習得や重文、複文を用いて自分の考えを日本語で表現できるようにした。 ・対象の子どもたちの得意分野である描画活動を取り入れることで表現力や創造性を引き出し学習意欲を高めた。



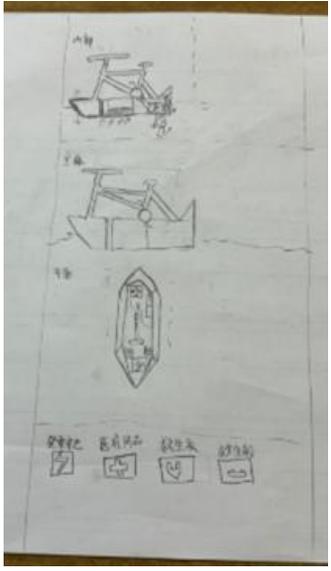
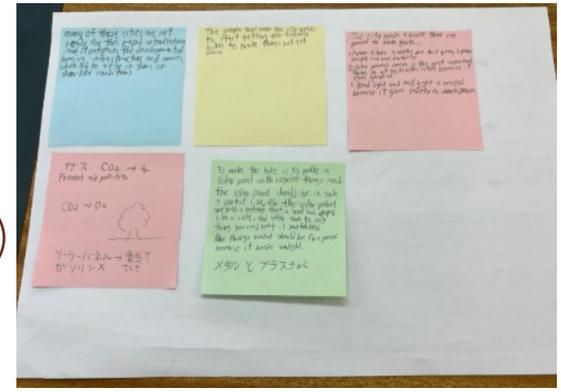
自転車のタイヤを回転させて火を起こし、水を沸騰させて蒸留水を集めるのはどう? せて蒸留水を集めるのはどう?

自転車を漕いで、遠心力で水と泥が分けられると思う。

汚い水をきれいにするところがない。

汚い水を飲みます。おなかが痛い

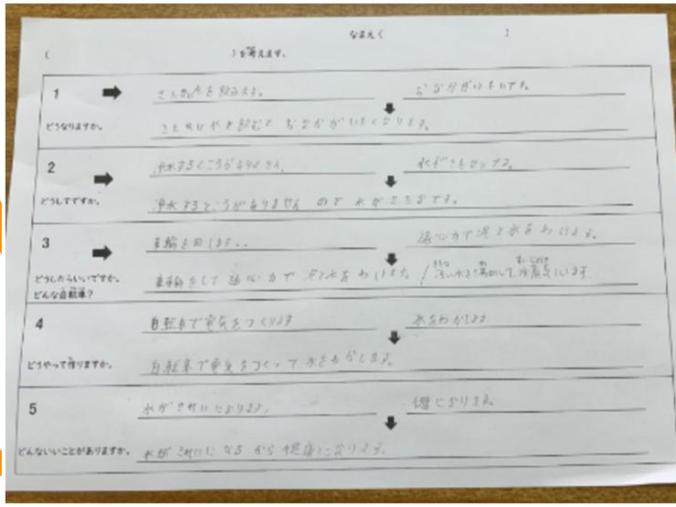
③自分が取り組みたい目標を選び、①のカードと同じ色分けをした付箋に母語や日本語で起こっている問題、背景、原因、解決法等について書いた。



④「未来の自転車」の下描き

①SDGsの6「安全な水とトイレを世界中に」を例にとって、問題の背景や原因、解決法などについて子どもたちの意見をカードに書いた。

⑤実際に応募した企画書と自転車の絵



②カードをつないで文にする活動。この活動を通して文型や表現等の学習を行った。

